

第4回 8月 センター試験本番レベル模試

夏休み終了。

実りの秋に向けて、実践的な学習を開始しよう！

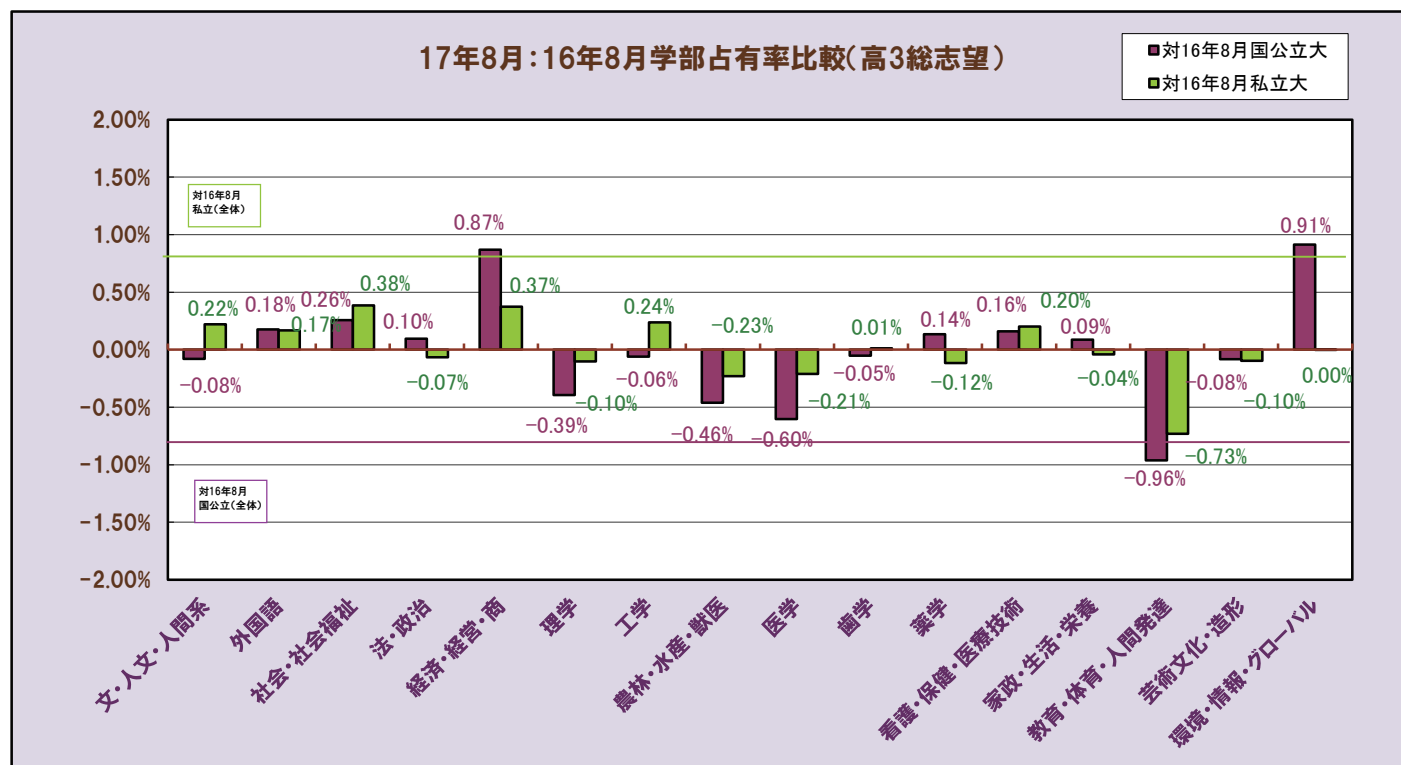
8月27日（日）に実施した「第4回 8月 センター試験本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期に同模試を受験した先輩の志望動向と比較した。

「受験の天王山」は納得のいく学習ができただろうか？

すぐに結果が出なくても、この夏の頑張りは秋以降の成績の伸びに大きく関わっていく。

実戦的な学習を積みながら、今まで「点」であった学習を「線」につなげていこう！

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



■国公立大

引き続き「文高理低」の傾向であるが、地域や大学の難易度によって学部系統の志望動向が全体の志望動向とは異なるものも散見される。

経済・経営・商学系は全体的に志望者が多い。国公立大では設置が少ない社会・社会福祉学系の増加は、昨年同時期の模試では判定対象としていなかった長野大（2017年度公立大学化）がこの区分に入ったなどが要因として挙げられるが、2018年度入試で社会学部の後期日程が廃止となる一橋大で志望者数が大幅に減少した（89）ため、実質的には減少傾向にあるといえる。環境・情報・グローバル系は九州大の共創学部、広島大の国際共創学科の新設などの動きが、指数に大きな影響を与えている。

■私立大

私立大の学部系統別の志望動向も国公立大とほぼ同様。心理学系の資格としては初の国家資格となる公認心理師制度の発足に対応するため、心理学を専攻できる大学が増加しているため、この動きにも今後、注目したい。

【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	99	102	102
外国語	112	107	109
社会・社会福祉	116	106	108
法・政治	102	99	100
経済・経営・商	108	102	104
理学	94	97	95
工学	100	102	100
農林・水産・獣医	93	92	92
医学	97	93	94
歯学	92	107	96
薬学	105	97	100
看護・保健・医療技術	102	104	103
家政・生活・栄養	109	98	101
教育・体育・人間発達	91	89	90
芸術文化・造形	83	92	90
環境・情報・グローバル	119	100	106

※このデータは、2017年と2016年の「第4回 8月 センター試験本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の高3生・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。